

心のUDプラスの推進に向けた取組



くらし・環境部県民生活局



心のUD(ユニバーサルデザイン)プラス

「心のUD」とは

一人ひとりがUDの理解を深め、相手の立場に立って、思いやりある行動ができること。

- ・障害者用駐車場に自動車を停めない
- ・他者に対して差別や中傷する発言をしない など

「心のUDプラス」とは

「困っている人を見かけたら声をかけて助ける」という一歩進んで行動を起こすこと。

今まで以上に、暮らしやすい社会づくりの実現には
「心のUDプラス」が大切

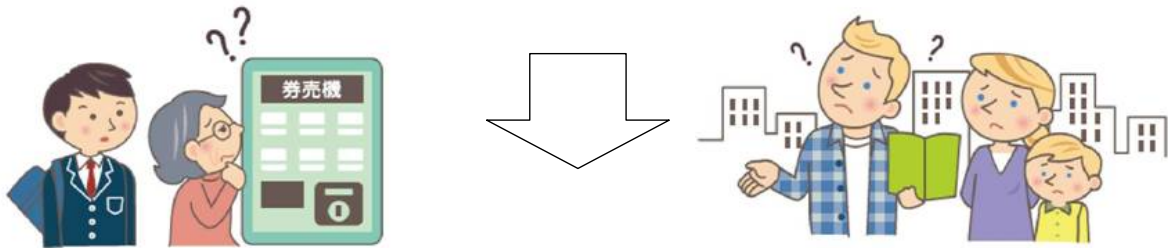


心のUD(ユニバーサルデザイン)プラス

困っている人を見かけた際に声をかけない理由は？

- ・ かえって相手の迷惑になるといやだから 47.8%
- ・ 手助けをしたくても対応方法がわからないから 40.5%

【内閣府H30バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査より】



「具体的な声のかけ方」・「サポート方法」を学ぶことが重要

おもてなしのポイント

【①声のかけ方のポイント】

「何かお手伝いできることはありますか？」

相手の望むサポートを聞く

・「大丈夫ですか？」という声かけはNG

【車椅子使用者の方】

目線の高さをあわせて声をかける

【視覚障害者・聴覚障害者の方】

正面にまわり、声を出して自己紹介をする

【外国人の方】

「こんにちは」と日本語で挨拶をする
ジェスチャーなどを加える

【高齢者の方】

相手の方に敬意をもって、はっきり・ゆっくりと話しかける



おもてなしのポイント

【②サポートのポイント】

【車椅子使用者の方】

- ・通行する際は、幅を意識する(車椅子の通行幅は80cm程度)
- ・スロープや段差は上りは前向き、下りは後ろ向き

【視覚障害者の方】

- ・具体的な距離を声に出して伝える
- ・狭い場所は一列になって進む
- ・階段は誘導者が先に進む
- ・クロックポジションで方向を伝える



【乳幼児連れの方】

- ・幼児の行動に常に気を配る
- ・ベビーベッドや休憩所の場所を把握しておく

【高齢者の方】

- ・転倒したり、つまづきやすくなるため、急がせない
- ・誘導もコミュニケーションも相手のペースに合わせる

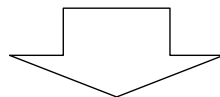
心のUDプラス実践講座

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けて、
より良いおもてなしを提供するため、

「声のかけ方のポイント」と「サポートのポイント」



を習得する実践講座を開催



対 象	観光関連事業者	オリパラ都市ボランティア
開催日等	10月17日（伊豆市）12名、 10月21日（三島市）11名	10月14日、15日、30日、11月24日 （各20名）【実技のみ】 1月13日（40名）、2月10日（53名）、 24日（52名）【講義＋実技】 ※沼津市・静岡市で開催

心のUDプラスの普及啓発



こんにちは。
どうしましたか？



Hello
May I help you?

你好！我能帮你做些什么？ 안녕하세요 무엇을 도와드릴까요? Boa tarde O que aconteceu?

【コミュニケーション支援カード】
言葉でのコミュニケーションが難しい
人と意思疎通を図る際に使用する
※イラストと多言語（日本語、英語、
ポルトガル語、中国語、韓国語）で
表記されている

出前講座で心のUDプラスを啓発

心豊かにするライフスタイルの実現

東京2020オリンピック・パラリンピックの
レガシーとして、心のUDプラスを定着



富国有徳の美しい

”ふじのくに“の人づくりへつなげよう！